

# 他人<sup>ひとごと</sup>事<sup>こと</sup>ではない認知症 正しい理解で つながるサポ<sup>ト</sup>

最も大切なのは  
家族や周囲の人の  
理解です



認知症の人と家族をみんなで支える地域づくりを推進  
介護・高齢福祉課 認知症地域支援推進員 山内加奈江

65歳以上の4人に1人が認知症あるいは認知症予備軍と言われ、今や認知症は他人事ではなく自分の身近なこととして考える時代になってきています。本市では、認知症の早期発見・早期治療ができる仕組みづくりを進めているほか、認知症の人やその家族を孤立させない地域での見守り体制づくりに力を入れています。

「認知症のことを学びたい」「認知症の人を支えたい」など認知症に関することは、介護・高齢福祉課や各地域包括支援センターに配置されている認知症地域支援推進員にご相談ください。



## 人と人 地域をつなぐ

### 認知症カフェ

誰もが気軽に参加できる集いの場として、現在市内17カ所で開設されている“認知症カフェ”。認知症の人やその家族が安心して過ごせる地域の居場所として、NPO法人、社会福祉法人などの運営主体で月1回程度開催されています。

認知症の人にとっては、外出して他人と関わる機会として、そして介護者にとっては、経験者や専門職に介護の方法を教えてもらえる情報交換の場として利用されるなど、さまざまな立場でさまざまな思いを持った人たちが集まります。

特別養護老人ホームうねめの里の一室で毎月第4木曜日に開催されている“オレンジカフェうつべ”。認知症の家族を持つ人たちが集まると、生活する上での悩みが自然にこぼれ始めます。認知症カフェでは、回想法や季節に合わせたイベントも開催されており、心身のリフレッシュ効果も期待されています。

ここ来ると  
本当に楽しい



オレンジカフェうつべ参加者  
カフェではほかの参加者のお世話役

家にいると1人なので、しゃべることもないんです。でも、ここに来たら、知っている人がたくさんいて、自然にいっぱいしゃべっています。今が一番幸せです。周りの皆さんにも良くしてもらって安心して通っています。

22,642人(9月末時点)のサポーターがいます♪

### 認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成講座を随時開催しています。「認知症サポーター」には、“認知症の人を支援します”という意味を示す目印であるブレスレット(オレンジリング)を配布します。

受講を希望される場合は、介護・高齢福祉課高齢福祉係(☎354-8170)へお問い合わせください。



# 認知症神戸モデル<概要イメージ>

## 診断助成制度

65歳以上の市民

第1段階 ※地域の  
医療機関  
認知機能検診

認知症の疑いの有無を診断

疑いのある方

第2段階 ※専門の  
医療機関  
認知機能精密検査

認知症かどうかと病名を診断

認知症の診断

認知症の人

自己負担ゼロ  
(市が助成)

賠償責任保険等に参加

## 事故救済制度

認知症の人が起こした事故

②最高2億円

①最高3千万円

賠償責任保険

保険料を市が負担

賠償責任があれば支給

・所在がわからなくなったら  
かけつけ  
(GPS安心かけつけサービス)

2階建て方式

見舞金(給付金)  
<全市民対象>

賠償責任の有無にかかわらず支給

①見舞金は、賠償責任の有無にかかわらず支払い  
(被害者救済のために、速やかに支払い)

②その後、賠償責任があれば 賠償責任保険より支払い  
(その場合①の額は控除)

※事故の場合、コールセンターで24時間365日相談対応

これらにかかる費用は市民のみなさまのご負担(個人市民税均等割1人あたり年間400円)でまかなう